

会 議 録

会議名		令和6年度第4回小山地区まちづくり会議		
事務局 (担当課)		中央区役所中央6地区まちづくりセンター 電話042-707-7049 (直通)		
開催日時		令和6年10月1日(火) 19時00分～20時30分		
開催場所		小山公民館 大会議室		
出席者	委員	17人(別紙のとおり)		
	その他	0人		
	事務局等	4人(中央6地区まちづくりセンター所長ほか3人)		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		<ol style="list-style-type: none"> 1 開 会 2 あいさつ 3 議 題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和6年度小山地区まちづくり会議のスケジュールについて (2) 災害時要援護者等に対する小山地区の現状の取組について (3) 星が丘地区における「災害時たすけあい事業」について <p style="margin-left: 2em;">*説明：中央6地区まちづくりセンター 阿藤主任 (星が丘地区地域政策担当)</p> 4 その他 <ul style="list-style-type: none"> ・相模原駅北口地区のまちづくりにおける民間提案募集について 5 閉 会 		

議 事 録

主な内容は次のとおり。(○は委員の発言、●は事務局の発言、△中央6地区まちづくりセンター星が丘地区地域政策担当の発言)

1 開 会

2 会長あいさつ

入谷会長のあいさつにより開会した。

3 議 題

(1) 令和6年度小山地区まちづくり会議のスケジュールについて

入谷会長から、令和6年度のスケジュールは資料1のとおりとしたい旨提案がされた。

<主な意見・質疑>

異議なく承認された。

(2) 災害時要援護者等に対する小山地区の現状の取組について

災害時要援護者等に対する取組を行っている団体等から発表を行い、その後質疑応答を実施した。

■発表団体等

- ・宮下自治会、すすきの自治会、すすきの向陽自治会、久保原自治会、相模原駅前自治会、小山地区民生委員児童委員協議会、防犯指導員、小山中学校PTA、小山地域包括支援センター

※発表の概要については資料1（会議後）のとおり。

<主な意見・質疑>

○すすきの向陽自治会の取組について、今後も継続いただきたい。避難所運営協議会に女性がいないと女性用品の受け渡し等が難しいという声もあるため、運営に携わっていただけると非常に助かる。

○地域包括支援センターの取組について、さまざまな災害情報に留意しているとのことだが、どの様にして情報をいち早くキャッチしているのか教えていただきたい。

⇒○職員全員でないが、さがみはらメールマガジン「防災」「安全・安心」を登録し情報収集している。

⇒●さがみはらメールマガジン「防災」「安全・安心」は配信を希望する地区が選択でき、河川水位情報などが配信される。また、気象庁のホームページまたはアプリの「キキクル」もリアルタイムな情報収集ができるほか、神奈川県ホームページでも河川の状況が映像で確認できる。

○地区民生委員児童委員協議会の取組について、豪雨時の河川の氾濫等の確認はどのように行っているのか。今後、SNS を通じて若者から発信するののも一つの手法だと思う。

⇒○各種防災サイト等で河川の映像や降水量を確認している。

○相模原駅前自治会の取組について、自治会未加入者へのアプローチはあるのか。

⇒○自治会員のみである。自治会に入っていない方のアプローチは必要だと思っているが、現状は自治会員への取組で精一杯である。

○危険なブロック塀等を撤去したいと考えている。以前は市の補助があったと記憶しているが、現在もあれば教えてほしい。また、各自主防災隊等において実施している防災倉庫の備蓄について、備蓄品のリスト等があれば教えてほしい。

⇒○現在も補助制度があり、市ホームページにも概要が掲載されている。

⇒●補助制度の概要及び防災倉庫の備蓄リスト等は、確認し、後日回答する。

(3) 星が丘地区における「災害時たすけあい事業」について

中央6地区まちづくりセンター星が丘地区地域政策担当の阿藤主任から、資料に沿って説明が行われた。

<主な意見・質疑>

○本事業の支援者はどんな方が担当するのか。

⇒△自治会によってさまざまである。自治会の班長プラス民生委員・児童委員が担当する自治会もあれば、支援者を個々に依頼している自治会もある。また、互助の観点から、疾病等がない要援護者同士が支援者になることもある。

○私も別の市でこの様な役職を担っているが、個人情報の取扱いは大変苦慮している。本事業は地区単位で実施されているが、まちづくりセンターが事務局を担っているからこそ、地区民生委員児童委員協議会等とも連携できるものだと思う。今後の参考にさせていただきたい。

○本事業はとても参考になる。本事業を小山地区でどの程度取り入れることができるか、また、自治会員のみを事業の対象とするのではなく「災害時に取り残さない小山地区」になれるよう、次回以降支援体制を検討したい。

4 その他

事務局から以下の事項について報告等をした。

- ・相模原駅北口地区のまちづくりにおける民間提案募集について
- ・第50回衆議院議員総選挙における従事者等の依頼について

5 閉会

星副会長のあいさつにより閉会した。

以上

小山地区まちづくり会議委員出欠席名簿

令和6年10月1日開催

	氏名	所属等	備考	出欠席
1	入谷 利郎	小山地区自治会連合会	会長	出席
2	加治 左近	宮下自治会		出席
3	徳永 三朗	すすきの自治会		出席
4	亀田 浩代	すすきの向陽自治会		出席
5	新田 弘子	向陽町自治会		出席
6	丸山 和加恵	久保原自治会		出席
7	武井 弘吉	自治会法人 氷川町自治会		欠席
8	宇根 浩	相模原駅前自治会		欠席
9	福田 雅幸	東第一自治会		欠席
10	笠原 昌昭	丸山自治会		出席
11	星 清次	小山公民館	副会長	出席
12	川口 久美	小山公民館		出席
13	小宮 里美	小山公民館利用者懇談会		出席
14	長谷川 澄男	小山地区社会福祉協議会	副会長	出席
15	山田 良章	小山地区社会福祉協議会		出席
16	小池 美恵子	小山地区民生委員児童委員協議会		欠席
17	大谷 春枝	青少年健全育成協議会		出席
18	永山 康雄	防犯指導員		出席
19	加藤 秀子	相模原交通安全協会小山支部		出席
20	中村 悠一	向陽小学校PTA		出席
21	金子 順	小山中学校PTA		欠席
22	中里 和男	相模原西商店街協同組合		欠席
23	小田 信之	小山地域包括支援センター		出席
24		学識経験者		

【別紙(資料1)】 災害時要援護者等に対する小山地区の現状の取組について(会議後)

	所属団体	取組の対象者	取組の内容
2	宮下自治会 <別紙あり>	・高齢者の世帯 ・援護が必要な人	活動名:「さりげない見守り活動」(※カラーチラシを作成し周知している) 「向こう三軒両隣」を合言葉に、日常地域の絆を作りつつ、いざという時の体制を築き上げる。 ・支援者(3~4人)は、日常の散歩や買物、通勤のついでに要支援者に目配りをする。 ・日常、「なーんかヘン」と感じたら、民生委員・自治会役員等(福祉委員長、福祉担当副会長)→緊急連絡先(身内など)へ連絡する。 ・災害時には要支援者に声をかけて、応援が必要ならご近所や救援隊に連絡する。 ・要支援者の登録方法 ①自治会の広報により支援が必要な方が自主的に自治会へ依頼 ②民生委員・児童委員の紹介 ③地域包括支援センターの紹介 ※情報を確認する自治会役員は、福祉委員長、福祉担当副会長に限定している。
3	すすきの自治会	・高齢者 ・情報弱者 ・ひとり親	災害時要援護者名簿が未作成のため、個別の対応は自治会としてはできていない。約550世帯の自治会地域を地区(A~C)・組(1~18)・班(32)に区分けて回覧板・夜警を巡回することで安否確認と共に、班を中心に、近所付き合いを促進する環境作りを行っている。年4回のすすきの公園でのイベントを通じて地域交流を促進している。
4	すすきの向陽自治会	全世帯	避難所運営者に女性がいいため、避難所運営協議会のメンバーに子ども会の育成会会長を加え、女性や子どもが安心して避難できるよう配慮した体制としている。
6	久保原自治会	区域内の住民	・チームくぼはらを結成し、月1のあいさつ運動等を通じて、コミュニティ作りを行っている。 ・自治会費を徴収する際に、自宅の玄関まで歩行が可能かどうか確認をしている。(玄関までの歩行が可能であれば、被災した際の救助が可能と聞いたことがあるため) ・災害時に備え名簿を作成し、パソコンで管理している。 ・避難訓練を実施し、一時避難場所等の確認を行っている。
8	相模原駅前自治会	自治会会員	・回覧により、要支援の受付の周知を行い、希望があれば自治会長が自宅に訪問し個票を作成する。 ・年に1回、電話または訪問により、個票を変更または継続の確認をする。 ・この個票は、大規模災害が発生した際、いち早く、支援者宅を訪問する際に活用する。 ・2021年以降、新自治会長が継続しているか確認中。
14	小山地区民生委員・児童委員協議会	一人暮らし高齢者	日頃から見守り活動は行っているが、特に境川近辺の対象者は豪雨時の氾濫等があるため、注視している。また、避難時の移動支援についても過去に対応実績があり、気を遣っている。
16	防犯指導員	災害避難者宅	避難宅の侵入による盗難等を防ぐための体制作りを、中央区安全・安心まちづくり協議会小山地区において、検討していきたい。
19	小山中学校PTA	小山中学校の生徒	外国人の生徒に対応した防災マニュアルがない。日本語を話すことができない生徒は、防災頭巾のかぶり方が分からないこともあるため、外国人に対応した取組を今後検討したい。

【別紙(資料1)】 災害時要援護者等に対する小山地区の現状の取組について(会議後)

	所属団体	取組の対象者	取組の内容
21	小山地域包括支援センター <別紙あり>	風水害災害時チェックリスト対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・相模原市ホームページやメールマガジン等が提供する警報発令や災害時情報に留意、注意している。 ・職員間の情報共有、避難経路や避難場所の確認。 ・風水害が予測される場合は早めに連絡し、避難行動の相談、助言を行う。(警戒レベル3の「高齢者避難」指示が出る前に伝える。) ・避難場所に向かう際には必要なものを伝えている。 ・対象者については、毎年5月、11月に見直しをしている。 ・対象者はリスト化しており、電話や訪問により避難行動の相談や助言等を行う。連絡が取れない場合は、家族やケアマネジャー、利用していた介護事業所等に問い合わせをする。自宅が空き家になっていた場合は、自治会長へその旨報告する。 ・対象者へは避難行動に関するチラシを配付しているほか、マンションに居住している方、川沿いに住んでいる方向けに、それぞれ災害時の備え等に関する資料を配付してる。(別紙参照)